



| | | |
|----------------|---------------|----|
| ファームウェアバージョン : | V1.10.B017 | |
| ハードウェアバージョン : | DGS-3000-10TC | A1 |
| ハードウェアバージョン : | DGS-3000-26TC | A1 |
| 発行日 : | 2016/2/1 | |

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

| | |
|----------------------------------|---|
| 変更履歴とシステム要件 : | 2 |
| アップグレード手順 : | 2 |
| CLI (シリアルポート) を使用するアップグレード | 2 |
| Web-UI を使用するアップグレード | 5 |
| 追加機能 : | 8 |
| コマンドラインインタフェースの変更点 : | 8 |
| 修正した問題 : | 8 |
| 既知の問題 : | 8 |

変更履歴とシステム要件：

| ファームウェアバージョン | リリース日付 | モデル | ハードウェアバージョン |
|------------------|----------|--------------------------------|-------------|
| ランタイム：V1.10.B017 | 2016/2/1 | DGS-3000-10TC DGS-3000-26TC | A1 |

注意： v1.01xx のファームウェアから、v1.10.xx 以降のファームウェアに直接アップグレードすることはできません。最初に v1.01xx から、v1.10.013 のファームウェアに同梱されている v1.10.000 へのアップグレードを行ってから、本ファームウェアへのアップグレードを行ってください。

アップグレード手順：

アップグレードを行うには、[CLI\(シリアルポート\)](#)、もしくは [Web-UI](#) を使用してファームウェアのアップグレードを行うことができます。

CLI（シリアルポート）を使用するアップグレード

1. スwitchの電源を切り、RS-232 シリアルポート（コンソールポート）で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：**115200**
- データビット：**8**
- パリティ：**none**
- ストップビット：**1**
- フロー制御：**none**

2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本Switchのシリアルポートを RJ-45 シリアルケーブルで接続します。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。

※初期状態では管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていません。何も入力せずに「enter」キーを 2 回押し、ログインします。

4. ログイン後下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

| コマンド | 説明 |
|---|---------------------------|
| download [firmware_fromTFTP <ipaddr> src_file <path_filename 64> dest_file < path_filename 64> }] | スイッチにファームウェアをダウンロードします。 |
| config firmware image <path_filename64> boot_up | Boot up イメージファイルの変更をします。 |
| reboot | スイッチをリブートします。 |
| show switch | 現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。 |

- ※ CLI コマンドの詳細は CLI マニュアルを参照下さい。
以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例:

1.ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DGS-3000-10TC:admin#download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 src_file DGS3000_Run_1_10_B017.had dest_file
DGS3000_Run_1_10_B017.had
Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 src_file DGS3000_Run_1_10_B017.had dest_file
DGS3000_Run_1_10_B017.had
```

```
Connecting to server..... Done.
Download firmware..... Done. Do not power off!
Please wait, programming flash..... Done.
```

Success.

2.ダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に使用するファイルとして設定します。

```
DGS-3000-10TC:admin#config firmware image c:/DGS3000_Run_1_10_B017.had boot_up
```

```
Command: config firmware image c:/DGS3000_Run_1_10_B017.had boot_up
```

Success.

3.スイッチをリブートします。

```
DGS-3000-10TC:admin#reboot
```

```
Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y
```

注意 : スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

4. ファームウェアバージョンを確認します。

DGS-3000-10TC:admin#show switch

Command: show switch

| | |
|----------------------|--|
| Device Type | : DGS-3000-10TC Gigabit Ethernet Switch |
| MAC Address | : C8-D3-A3-44-B9-40 |
| IP Address | : 192.168.255.2 (Manual) |
| VLAN Name | : default |
| Subnet Mask | : 255.255.255.0 |
| Default Gateway | : 0.0.0.0 |
| Boot PROM Version | : Build 1.00.001 |
| Firmware Version | : Build 1.10.B017 |
| Hardware Version | : A1 |
| Serial Number | : xxxxxxxxxxxx |
| System Name | : |
| System Location | : |
| System Uptime | : 0 days, 0 hours, 0 minutes, 58 seconds |
| System Contact | : |
| Spanning Tree | : Enabled |
| GVRP | : Disabled |
| IGMP Snooping | : Disabled |
| MLD Snooping | : Disabled |
| VLAN Trunk | : Disabled |
| Telnet | : Enabled (TCP 23) |
| Web | : Enabled (TCP 80) |
| SNMP | : Disabled |
| SSL Status | : Disabled |
| SSH Status | : Disabled |
| 802.1X | : Disabled |
| Jumbo Frame | : Disabled |
| CLI Paging | : Enabled |
| MAC Notification | : Disabled |
| Port Mirror | : Disabled |
| SNTP | : Disabled |
| Syslog Global State | : Disabled |
| Single IP Management | : Disabled |

Password Encryption Status : Disabled

DNS Resolver : Disabled

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。
(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。

※管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていません。
「空白」でログインを行ってください。

5. スwitchのファームウェア更新を行うには、**Tools> Download Firmware** の順にクリックします。



6. ファームウェアダウンロードの設定を行います。
ダウンロードの方法は、「TFTP」「FTP」「HTTP」のいずれかを選択できます。

<TFTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 「Download Firmware From TFTP」にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

A screenshot of the 'Download Firmware' configuration window. It has a title bar 'Download Firmware'. Inside, there are three radio buttons: 'Download Firmware From TFTP' (which is selected), 'Download Firmware From FTP', and 'Download Firmware From HTTP'. Below these, there are input fields for 'TFTP Server IP', 'Source File', and 'Destination File'. To the right of the 'TFTP Server IP' field, there are three radio buttons: 'IPv4' (selected), 'IPv6', and 'Domain Name'. A 'Download' button is located at the bottom right of the form.

TFTP Server IP : TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

Source File : ダウンロードするファームウェアのファイル名を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

<FTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 「Download Firmware From FTP」 にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

The screenshot shows a web form titled "Download Firmware". It has three radio buttons: "Download Firmware From TFTP", "Download Firmware From FTP" (which is selected), and "Download Firmware From HTTP". Below these are several input fields: "FTP Server IP", "User Name", "Password", "Tcp Port (1-65535)", "Source File", and "Destination File". There is also a checkbox labeled "Boot Up" and a "Download" button at the bottom right.

FTP Server IP : FTP サーバの IP アドレスを入力します。

User Name : FTP サーバのユーザ名を入力します。

Password : FTP サーバのパスワードを入力します。

Tcp Port (1-65535) : TCP ポートの番号を入力します。

Source File : ダウンロードするファームウェアのパスとファイル名を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

※ブートアップファイルに指定する場合は、「Boot Up」にチェックをいれます。

<HTTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 「Download Firmware From HTTP」 にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

The screenshot shows the same "Download Firmware" web form, but now "Download Firmware From HTTP" is selected. The "FTP Server IP" and "User Name" fields are no longer visible. The "Destination File" and "Source File" fields are present, with a "参照..." (Reference) button next to the "Source File" field. The "Download" button is at the bottom right.

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

Source File : 「ファイルを選択」をクリックして、ダウンロードするファームウェアを選択します。

7. 「Download」をクリックします。

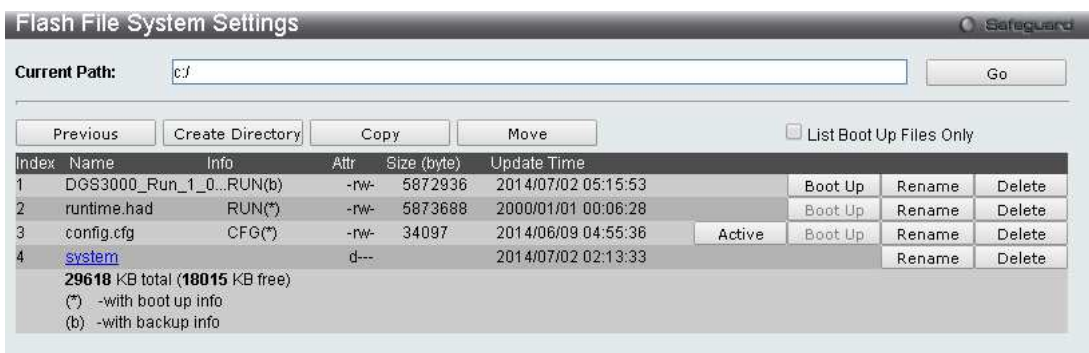
8. ステータス表示が 100%になり、ダウンロードが完了するまでお待ちください。

9. ダウンロードしたファームウェアを、次回起動時のブートアップファイルに指定します。
※FTP サーバ経由でダウンロードする際に、「Boot Up」にチェックをつけた場合は作業不要です。

- ① 「Network Application」 > 「Flash File System Settings」の順でメニューをクリックします。
- ② 「Root」欄の「C:」をクリックします。
または「Current Path:」に「C:/」と入力→「Go」をクリックします。



- ③ ブートアップファイルに指定するファイルの「Boot Up」をクリックします。



※Info 欄の * は、現在ブートアップファイルに指定されていることを表します。

- ④ ブートファイルの指定に成功すると成功を通知する画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

10. スイッチのリブートを行います。

- ① 「Tools」 > 「Reboot System」の順でメニューをクリックします。
- ② 「Do you want to save the settings ?」の「Yes」にチェックをいれ、「Reboot」をクリックします。

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

11. 再起動完了後にログインし、「Device Information」画面でファームウェアがアップデートされたことを確認します。

追加機能：

| ファームウェアバージョン | 追加機能 |
|--------------|------|
| V1.10.B017 | 特になし |

コマンドラインインタフェースの変更点：

| ファームウェアバージョン | 変更点 |
|--------------|------|
| V1.10.B017 | 特になし |

修正した問題：

| ファームウェアバージョン | 修正した問題点 |
|--------------|---|
| V1.10.B017 | <ol style="list-style-type: none"> LAG 構成において、FDB が不正な状態となることがある問題を修正致しました。 Port17 において、10/100 でリンクした端末が接続されていた場合に、Combo ポートを無効にすると、Port17 に接続されている端末の通信ができなくなる問題を修正致しました。 config accounting service command method_list_name で長い文字列が入力されてもエラーを出さない問題を修正致しました。 OAM 機能を使用している場合、show tech の実行により、“OAM”の Dump 箇所において、“CPU Exception”で再起動する問題を修正致しました。 DNS クライアント機能を有効にした場合に、CNAME、複数 Record を含む応答を処理できない問題を修正致しました。 create vlan, delete vlan, show config current_config 等のコマンドでレンジ指定を使用した場合に、LACP、STP、LBD の処理が遅延することがある問題を修正致しました。 |

既知の問題：

| ファームウェアバージョン | 既知の問題 |
|--------------|--|
| V1.10.B017 | <ol style="list-style-type: none"> ファームウェアを v1.01 から v1.10.xx へ直接アップグレードできない問題 => v1.10.00 へアップグレードしてから、本ファームウェアへアップグレードしてください。 ファームウェアを v1.01 から v1.10.xx 以降のファームウェアへアップグレードすると、802.1X ポートベースモードを再設定する必要がある問題 => “config authentication ports <portlist> auth_mode port_based”を使用して再設定してください。 |

Copyright 2006-2016 D-Link Japan K.K.